



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成23年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 ぴあ
コード番号 4337 URL <http://www.pia.co.jp/pia/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢内 廣
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員主計局長 (氏名) 眞子 祐一

TEL 03-5774-5292

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	47,938	△1.7	△104	—	△118	—	△130	—
23年3月期第2四半期	48,747	△4.5	18	—	16	—	91	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △128百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 88百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△9.27	—
23年3月期第2四半期	6.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	19,931	3,772	18.7	265.21
23年3月期	22,974	3,900	16.8	274.40

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 3,731百万円 23年3月期 3,860百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,500	△0.2	50	△8.4	30	△2.7	10	△89.2	0.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	14,092,913 株	23年3月期	14,092,913 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	22,472 株	23年3月期	22,472 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	14,070,441 株	23年3月期2Q	14,070,447 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興に伴い企業の生産活動や個人消費に改善の兆しが見られた一方で、原子力災害の影響や電力供給に加え、欧州の金融不安や長期化する円高の影響などにより、先行き不透明な状況が続いております。

また、国内レジャー・エンタテインメント市場においても、復興に向けたチャリティーイベントの開催等、一部に回復の兆しが見られたものの、震災の影響によるイベントの開催中止・延期が相次ぐなど、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、震災により、メディア・コンテンツ事業において、レジャー関連商品を中心とした販売・広告収入の減少などの影響を受けており、一部チケット販売の回復が見られたことや前期に断行した各種構造改革及びコスト削減による効果が発現したものの、売上・利益とも前年同期を下回っております。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高479億38百万円(対前年同期比98.3%)、営業損失1億4百万円(対前年同期比1億22百万円悪化)、経常損失1億18百万円(対前年同期比1億35百万円悪化)、四半期純損失1億30百万円(対前年同期比2億22百万円悪化)となりました。

セグメント別の営業概況は、次のとおりであります。

[ライブ・エンタテインメント関連事業]

チケット販売は、国内ポップス系の大型興行、韓流イベント、関西エリアでの販売においては比較的好調に推移したものの、スポーツ・レジャー関連においては震災の影響を受けております。一方、お客様の利便性の向上や購買行動の促進を図ってきたインターネットでのチケット販売は、震災後も順調に拡大しており「びあ会員」は、9月末に922万人(前期末831万人、前々期末709万人)に達しております。その結果、売上高は457億72百万円(対前年同期比99.2%)、営業利益は4億15百万円(対前年同期比54百万円増加)となりました。

[メディア・コンテンツ事業]

出版販売や広告市場が厳しい状況にあるなかで、引き続き、編集・製作コストの削減や配本の効率化による収益性の改善を図っておりますが、当第2四半期連結累計期間においては、震災の影響を受けるかたちで前期末に発刊した不定刊誌の返本の増加や発刊点数の減少、加えてレジャー関連MOOK本の販売減少を余儀なくされました。また、この間進めてきた構造改革の一環として、昭和47年7月に創刊し39年にわたり発行してまいりました情報誌「びあ」(首都圏版)を平成23年7月21日発売をもって休刊しております。その結果、売上高は21億19百万円(対前年同期比83.8%)、営業損失は1億50百万円(対前年同期比1億92百万円悪化)となりました。

なお、当社は、平成23年10月25日にWEB・雑誌・店舗を連動させたユーザー参加型の新しいビジネスモデルの創出を目的とした「ウレびあ」(情報サイト「ウレびあ総研」・月刊誌「ウレびあ」)を開始いたしました。本サービスは、これまで情報誌「びあ」と「チケットびあ」を通じて培ったノウハウを最大限に活用して、映画・音楽・スポーツ・レジャーだけでなくエンタテインメント性のある商品やサービスまでをフォーカスした新たな市場の開拓を目指してまいります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は199億31百万円となり、前連結会計年度末と比較して30億43百万円減少いたしました。流動資産は158億84百万円(前連結会計年度末比24億29百万円減)となりました。変動の主なものは、現金及び預金の減少(同39億60百万円)、受取手形及び売掛金の増加(同10億8百万円)であります。また、固定資産は40億46百万円(前連結会計年度末比6億14百万円減)となりました。

負債は161億58百万円となり、前連結会計年度末と比較して29億15百万円減少いたしました。流動負債は148億98百万円(前連結会計年度末比29億80百万円減)となりました。変動の主なものは、買掛金の減少(同30億5百万円)であります。固定負債は12億60百万円(前連結会計年度末比65百万円増)となりました。変動の主なものは、長期借入金の増加(同59百万円)であります。

純資産は37億72百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億28百万円減少いたしました。これは、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少(同1億30百万円)によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して39億60百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末は55億36百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは38億56百万円の支出(前年同四半期は5億円の収入)となりました。この

主要因は、売上債権の増加が10億8百万円、仕入債務の減少が30億5百万円及び減価償却費が7億51百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは3億5百万円の支出(前年同四半期は2億22百万円の支出)となりました。この主要因は、有形固定資産の取得による支出1億36百万円、無形固定資産の取得による支出1億34百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは2億2百万円の収入(前年同四半期は3億29百万円の支出)となりました。この主要因は、長期借入れによる収入6億円、長期借入金の返済による支出3億96百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、先行きの経済環境が引き続き不透明感があることをふまえ、前回公表の予想数値に変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,496,751	5,536,007
受取手形及び売掛金	7,965,425	8,974,374
商品及び製品	74,379	53,856
仕掛品	19,952	1,704
原材料及び貯蔵品	6,103	6,771
その他	778,148	1,350,409
貸倒引当金	△27,132	△38,721
流動資産合計	18,313,628	15,884,401
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	164,797	151,075
工具、器具及び備品（純額）	159,122	143,736
土地	6,240	6,240
その他（純額）	9,780	7,987
有形固定資産合計	339,940	309,039
無形固定資産		
のれん	12,382	10,334
ソフトウェア	3,075,184	2,494,765
ソフトウェア仮勘定	41,810	7,902
その他	61,916	61,523
無形固定資産合計	3,191,293	2,574,526
投資その他の資産		
投資有価証券	323,232	357,146
その他	1,185,146	1,151,608
貸倒引当金	△378,692	△345,542
投資その他の資産合計	1,129,685	1,163,212
固定資産合計	4,660,919	4,046,778
資産合計	22,974,547	19,931,180

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,507,224	11,501,766
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	788,000	932,760
未払金	915,828	563,770
未払法人税等	28,679	28,751
賞与引当金	3,728	4,081
返品調整引当金	298,000	242,000
その他	1,137,686	1,425,024
流動負債合計	17,879,148	14,898,154
固定負債		
長期借入金	620,000	679,240
退職給付引当金	63,728	66,030
役員退職慰労引当金	100,530	99,367
資産除去債務	59,248	59,608
その他	351,540	356,474
固定負債合計	1,195,048	1,260,721
負債合計	19,074,197	16,158,875
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,239,158	4,239,158
資本剰余金	402,670	402,670
利益剰余金	△697,815	△828,291
自己株式	△61,356	△61,356
株主資本合計	3,882,656	3,752,181
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,370	2,642
為替換算調整勘定	△23,067	△23,190
その他の包括利益累計額合計	△21,696	△20,548
少数株主持分	39,390	40,671
純資産合計	3,900,350	3,772,304
負債純資産合計	22,974,547	19,931,180

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	48,747,905	47,938,077
売上原価	44,873,053	44,025,654
売上総利益	3,874,851	3,912,423
返品調整引当金戻入額	278,000	298,000
返品調整引当金繰入額	247,000	242,000
差引売上総利益	3,905,851	3,968,423
販売費及び一般管理費	※1 3,886,966	※1 4,072,433
営業利益又は営業損失(△)	18,885	△104,009
営業外収益		
受取利息	342	169
受取配当金	3,137	2,532
持分法による投資利益	8,602	12,698
その他	5,453	1,068
営業外収益合計	17,536	16,468
営業外費用		
支払利息	16,852	15,235
災害損失	—	14,316
その他	2,702	1,132
営業外費用合計	19,554	30,684
経常利益又は経常損失(△)	16,866	△118,225
特別利益		
投資有価証券売却益	134,329	—
貸倒引当金戻入額	58,970	—
その他	1,000	—
特別利益合計	194,300	—
特別損失		
固定資産除却損	67	—
投資有価証券評価損	12,735	—
特別退職金	34,435	—
業務委託契約解約違約金	48,987	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12,997	—
特別損失合計	109,223	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	101,944	△118,225
法人税、住民税及び事業税	9,294	13,497
法人税等調整額	892	△2,527
法人税等合計	10,187	10,969
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	91,757	△129,194
少数株主利益	112	1,280
四半期純利益又は四半期純損失(△)	91,644	△130,475

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	91,757	△129,194
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,748	1,271
為替換算調整勘定	△105	△123
その他の包括利益合計	△2,853	1,148
四半期包括利益	88,903	△128,046
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,791	△129,326
少数株主に係る四半期包括利益	112	1,280

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	101,944	△118,225
減価償却費	678,955	751,887
のれん償却額	1,080	2,047
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,622	2,302
特別退職金	34,435	—
受取利息及び受取配当金	△3,479	△2,702
支払利息	16,852	15,235
投資有価証券評価損	12,735	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△134,329	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12,997	—
有形及び無形固定資産除却損	67	—
業務委託契約解約違約金	48,987	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,284,040	△1,008,949
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,974	38,103
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,943,602	△3,005,458
未払金の増減額(△は減少)	△293,244	△185,800
前受金の増減額(△は減少)	393,602	346,147
前渡金の増減額(△は増加)	△414,525	△552,622
その他	△241,907	△109,131
小計	564,206	△3,827,164
利息及び配当金の受取額	4,229	2,702
利息の支払額	△16,667	△15,512
役員退職慰労金の支払額	—	△834
特別退職金の支払額	△34,435	—
法人税等の支払額	△17,815	△16,126
法人税等の還付額	909	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	500,427	△3,856,936
投資活動によるキャッシュ・フロー		
長期貸付金の回収による収入	51,385	—
有形固定資産の取得による支出	—	△136,219
無形固定資産の取得による支出	△426,392	△134,197
投資有価証券の取得による支出	—	△20,000
投資有価証券の売却による収入	165,678	—
長期前払費用の取得による支出	—	△254
その他	△13,072	△15,119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△222,401	△305,789
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	600,000
長期借入金の返済による支出	△328,800	△396,000
自己株式の取得による支出	△11	—
その他	△772	△1,885
財務活動によるキャッシュ・フロー	△329,584	202,114
現金及び現金同等物に係る換算差額	△355	△132
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△51,914	△3,960,743
現金及び現金同等物の期首残高	5,392,448	9,496,751
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 5,340,534	※1 5,536,007

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ライブ・エンタ テインメント関連事業	メディア・ コンテンツ事業	
売上高			
(1) 外部顧客に対する売上高	46,140,897	2,530,392	48,671,290
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	46,140,897	2,530,392	48,671,290
セグメント利益	361,130	41,739	402,870

報告セグメントの外部顧客に対する売上高の合計額と四半期連結損益計算書の計上額との差額は主に文化支援活動によるものであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	402,870
「その他」の区分の利益（注1）	23,771
全社費用（注2）	△407,757
四半期連結損益計算書の営業利益	18,885

(注1) その他は、主に文化支援活動によるものであります。

(注2) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	ライブ・エンタ テインメント関連事業	メディア・ コンテンツ事業	
売上高			
（1）外部顧客に対する売上高	45,772,015	2,119,716	47,891,731
（2）セグメント間の内部売上高 又は振替高	39	—	39
計	45,772,054	2,119,716	47,891,771
セグメント利益又は損失（△）	415,813	△150,460	265,352

報告セグメントの外部顧客に対する売上高の合計額と四半期連結損益計算書の計上額との差額は主に文化支援活動によるものであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	265,352
「その他」の区分の利益（注1）	8,487
セグメント間取引消去	△1,590
全社費用（注2）	△376,259
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△104,009

（注1）その他は、主に文化支援活動によるものであります。

（注2）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。